

# アリスト(JZS16#系)

## ヨーレートセンサ & デセラレーション(G)

### センサ 0 点学習要領

- 対応車種: アリスト(JZS16#系)
- 対応年式: 平成 12 年 7 月～平成 16 年 12 月

上記車種のヨーレートセンサ交換時、デセラレーション(G)センサ交換時およびスキッドコントロールコンピュータ交換時はヨーレートセンサおよびデセラレーション(G)センサ 0 点学習を実施する必要があります。

以下に、作業要領を記載しますので、参考にしてください。

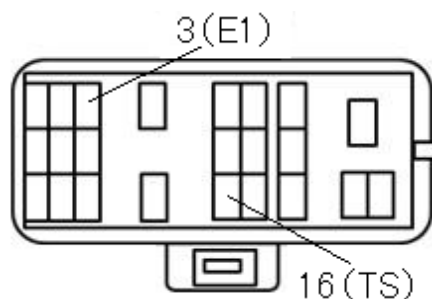
#### ※注意※

- ・作業手順は、必ずヨーレートセンサ&デセラレーション(G)センサ 0 点消去作業を実施してからヨーレートセンサ 0 点学習、デセラレーション(G)センサ 0 点学習の順で行ってください。
- ・学習は P レンジおよび車両を水平状態で振動を与えないようにして実施してください。

#### ヨーレートセンサ & デセラレーション(G)センサ 0 点消去および学習作業要領

1. ヨーレートセンサ&デセラレーション(G)センサ 0 点消去作業を実施します。  
IG OFF の状態で、シフトレバーを P レンジにしてください。

2. IG ON(エンジン停止)の状態、ダイアグノーシスコネクタの 16(TS)端子と 3(E1)端子間を 8 秒間に 4 回以上短絡、解放を繰り返してください。0 点記憶値が消去されると VSC ウォーニングランプが点灯します。



〈 図:ダイアグノーシス(診断)コネクタ 〉

**※注意※**

・ヨーレートセンサ&デセラレーション(G)センサ 0 点消去作業を実施した場合、必ずヨーレートセンサ 0 点学習、デセラレーション(G)センサ 0 点学習を行ってください。

3. ヨーレートセンサ 0 点学習作業を実施します。

VSC ウォーニングランプが約 15 秒間点灯後、点滅(0.25 秒間隔)になればヨーレートセンサ 0 点学習は完了です。

4. ヨーレートセンサ 0 点学習が完了したら IG OFF にしてください。

5. 次に、デセラレーション(G)センサ 0 点学習作業を実施します。

IG OFF の状態で、ダイアグノーシスコネクタの 16(TS)端子と 3(E1)端子間を短絡してから IG ON にしてください。

6. IG ON 後、VSC ウォーニングランプが約 4 秒間点灯状態になります。その後早い点滅(0.13 秒間隔)になればデセラレーション(G)センサ 0 点学習は完了です。

7. ダイアグノーシスの 16(TS)端子と 3(E1)端子を解放状態にしてすべての作業は完了です。